

図画工作科の目標
<p>・創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。</p> <p>・材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。</p> <p>・親しみのある作品などから、よさや美しさなどを感じ取るとともに、それらを大切にできるようにする。</p>

学習すること	
前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級掲示を作ろう～手形をとろう ○ 動きを工夫して ○ まが玉作り ○ 絵巻物を作ろう ～修学旅行の思い出～ ○ 運動会のポスターづくり
期	
後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図画工作大会に向けて「風景画」 ○ けしごむはんこ作り ○ オルゴール箱制作
期	

図画工作科の評価

・図画工作科では四つの観点で評価します。			
造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いをもって表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。	感じたことや見たこと、材料や場所などの特徴を基に表したいことを尾思い付いたり、形や色、用途や構成などを考えたりしている。	感覚を働かせたり経験を生かしたりしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、様々な表し方を工夫している。	親しみのある作品などの形や色などから、表現の意図や特徴をとらえたり、よさや美しさを感じ取ったりしている。
・次のような方法で見えていきます。			
取り組む様子	作品	発言	つぶやき 対話 話し合い